

飯塚・嘉麻トピックス Iizuka・Kama Topics

福岡、佐賀両県でパチンコ店を経営する玉屋の相談役、岩見吉朗さんが「飯塚のにぎわいに少しでも役立てば」と大相撲・二子山部屋に九州場所の稽古場と宿舎を提供されました。岩見さんと角界との縁は社長時代、知人の紹介で旧武蔵川部屋(現・藤島部屋)の支援に乗り出してから。

2018年11月、大相撲九州場所を前に、初めて飯塚市に宿舎を構える二子山部屋の稽古場が完成し、土俵祭りが開かれました。場所の安全を祈願し、二子山親方(元大関雅山)は「すぐ立派な土俵を作っていただきありがたい。良い結果を残して地域の方と一緒に喜びたい」と語りました。

稽古場は本町商店街近くにあるパチンコ店の一部を改装。朝稽古を見学できる椅子席があり、午前7時半から9時半まで稽古を一般公開されました。

二子山部屋九州場所後援会の佐藤弘明会長(嘉穂東高校30回生)は「若い力士たちの活躍を長い目で見て支え続けていただきたい」と熱い想いを語られました。現在、後援会への入会者を募集中とのことです。

嘉麻市足白ボルダリングセンター(K-WALL)



嘉麻市馬見の旧足白小の体育館を活用した観光拠点として、2018年4月に足白ボルダリングセンター「K-WALL(ケイウォール)」がオープンしました。

ボルダリングとは、4m程度の人工壁の突起物を使って、壁を登っていくスポーツで、2020年東京五輪の正式種目にも選ばれ人気上昇中です。なんと、九州で最大級のウォールの広さを持ったボルダリング専用施設で、高さ最大4.5m、斜面85度~135度までの大人用ウォール(小学生以上)が計7面。初級者~上級者まで、大人数でも余裕のキャパシティです。さらに未就学児用のウォールも4面備えており、子どもから大人まで楽しめます!

■運営:株式会社 嘉麻スタイル <https://kamastyle.co.jp/>



本部だより

年会費について

現在、母校では生徒数が減少し会費収入は以前と比べて減少しております。加えて、学校の教育活動の充実のために県に予算要求を重ねておりますが、県の予算も逼迫しているのが実情で、同窓会から学校への物品購入にも支援を行っております。さらに、成績優秀な生徒を対象に同窓会奨学金制度も創設いたしました。

平成27年より同窓会会員の皆様から年会費3,000円をご納入いただく事が決定し、趣意書と振込用紙を封書にて会員の皆様へ発送させていただきます。同窓会のさらなる充実と財政基盤の確立、母校の発展のため、年会費納入につきまして皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

ホームページのバナー広告募集について

公式ホームページの維持・管理費や同窓会運営財源の確保、同窓生相互のコミュニティ等を図ることを目的として、卒業生が在籍する企業・団体を対象に、バナー広告の掲載を承っております。掲載料は、年間10,000円(税込)と非常に安く設定いたしております。卒業生の皆様にはぜひ、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

バナー広告企業のご紹介(50音順・敬称略) 常時受付中!

■樹アークホームズ ■飯塚信用金庫 ■藤島花市場 ■井上洋服店 ■今心塾 ■フリーペーパーWING ■機エース・デンタル ■大塚石材株式会社 ■医療法人社 同視和会 共立病院 ■樹クボイ ■医療法人康和会 アイ歯科医院 ■佐野医院 ■ジェンテックス・ジャパン(株) ■社会福祉法人清知会 なつき保育園 ■樹カジマ建設 ■中嶋アロバノ瓦斯 ■樹ニッソー ■樹のがみのがみ総合グループ ■樹happiness 帆風 ■福皇帝産機 ■樹プリジール ■樹マクラー うめはうす ■村上ホーム ■吉岡スタジオ ■樹ライフパートナー 住宅型有料老人ホームはなみずき ■楽天生命保険代理店 佐藤伸一朗 ■樹リースキン・サトー

同窓会公式ホームページでは、同窓生の活躍や同期会の案内など皆様からの情報をお待ちしております。

●同窓会公式ホームページアドレスは <http://kahohigashi-doso.net> です。



東陵



花見人と群れつつ人の来るのみぞ、

あたら桜の谷にはありける

—西行—

福岡県立嘉穂東高等学校同窓会報 特別版

発行/2019年4月 飯塚市立岩1730の5 嘉穂東高等学校同窓会

東陵・特別版の発行にあたって

福岡県立嘉穂東高等学校同窓会 会長 藤江 文雄

さらの開花がいつ頃か、テレビの中でも毎日小まめに、気ずわく報じられていました。そのせいか、私は情報に踊らされ、この地域がいつ頃、飯塚はいつかなと一日に何度も枝を眺めていました。やっとその時を得て勝盛公園の桜がいい見頃になりました。(3月28日現在)平日の昼間にもかかわらず、公園の緩やかな丘のあちこちに子ども連れの花見姿が目につきます。うらかな春の日差しを浴びて、淡いピンクの桜のもとでお弁当を囲む風景はいいですね。はずむ子ども達の声で一層胸のときめきと、明るく暖かい春の息吹を感じるこの頃です。皆さんのお近況は如何だったでしょうか。

さて、全国に広がる同窓生の絆は年々強まり、本年は関西支部が誕生して10歳の春を迎えました。非常に目出度く喜ばしいことです。田中支部長を中心にして細やかな手立てと熱い行動力の賜だと察し、深く敬意を表します。

令和2年には母校は創立110周年を迎えます。創立者故伊藤伝右衛門翁の遺志を継ぎ、さらなる向上の道を辿る母校生徒のために、私たち同窓会の果たさなければならない母校愛、故郷愛の高まりを期待しています。同窓生諸氏のご多幸とご健勝を切に願っています。



平成30年度 同窓会入会式 2019年2月28日(木)

卒業式の直前に、毎年同窓会入会式が開催されています。今年は235名の卒業生が晴れて同窓会の会員となりました。母校体育館は凍りついた雰囲気です。生徒たちの着席する姿勢も話を聞く態度も素晴らしいものがありました。

矢ヶ崎校長の挨拶に続いて、藤江同窓会会長からは、入会歓迎の挨拶とともに、体育館に掲げる「嘉女の校歌」を毛筆で書いていただいた母校書道部出身の大塚幸子さん(高校60回生)の紹介がありました。

卒業後の同窓会クラス幹事紹介のあと、入会のごときは、生徒代表の廣島和希君が「私たち第71回卒業生は、只今、本校同窓会に入会することを認められました。誠にありがとうございます。思い返してみると、3年間でたくさんことを学びました。今後、私たちは嘉穂東高校で学んだことを生かしてそれぞれの進路へと旅立っていきます。そして、本校の卒業生としての誇りと同窓会の会員であるという自覚を持ち、日々精進を重ねていくことを誓います。」と力強く挨拶しました。



来年2020年の当番は、高校49回生(平成9年卒業)の皆さんです。

いくつになっても、友人は財産です!20数年ぶりの再会から、新たな友達の輪が広がりますよ。

現在、卒業時の同窓会委員の皆さんに連絡を取りながら、最近の当番生や同窓会理事の方からも49回生に知り合いがいれば、連絡をお願いしていただく予定です。お手伝いして頂ける方がひとりでも多く必要です。対象の方は下記までご連絡をお待ちしております。

○嘉穂東高校同窓会事務局 電話0948-22-0071(上村)
○嘉穂東高校同窓会公式ホームページアドレス:<http://kahohigashi-doso.net>

同窓会委員への当番説明会 2019年2月12日(火)

高校49回生(平成9年卒)、高校50回生(平成10年卒)同窓会委員への当番説明会をのがみプレゼントホテルにて開催致しました。役員会主催で、来年当番を迎える49回生、再来年当番を迎える50回生の同窓会委員を迎え、当番の流れ(実行委員会準備から解散までの概要・組織図の例)を説明いたしました。

早めに声掛けをすることにより、10月の総会・懇親会で「次期当番生」としての準備が少しでもスムーズにいければと思います。また、今回は昨年当番が終了した47回生と、今年の当番・48回生も同席され、今後の情報交換のための顔合わせも出来ました。当番生の皆さんよろしく申し上げます。

同窓会役員紹介

本部役員	福岡支部役員	東京支部役員	関西支部役員
会長 藤江 文雄(高9)	支部長 田代 勝(高15)	支部長 中野 滋徳(高12)	支部長 長谷川 浩二(高16)
副会長 花田 正(高23)	副支部長 兒嶋 佳苗(高18)	副支部長 伊藤 房憲(高20)	副支部長 荒巻 建蔵(高15)
副会長 井上 有比古(高24)	副支部長 岩佐 守(高19)	(会計・事務局)	副支部長 伊藤 日出雄(高21)
副会長 近藤 哲司(高31)	事務局長 花岡 清利(高19)	副支部長 井出 せつ子(高17)	事務局長 花村 二郎(高26)
副会長 伊藤 浩之(高32)	事務局次長 小川 民夫(高20)	(渉外担当)	会計 平田 和洋(高27)
総務部長 縄田 建一(高40)	事務局次長 本田 博文(高23)	事務局員 村山 夕紀子(高20)	会計監査 福岡 正浩(高11)
財務部長 小林 英樹(高42)	事務局次長 野見山 武典(高25)	(会計)	顧問 田中 良一(高8)
広報部長 永井 潤子(高32)	広報局長 原 圭子(高35)	会計監査 野見山 照久(高11)	
企画部長 久保井 英樹(高44)	広報局長 阿部 圭令(高24)	会計監査 柴田 秀彰(高22)	
監事 大塚 修一(高19)	会計 渡江 裕章(高21)	会計監査 徳永 秀昭(高11)	
監事 須 勇人(高24)	幹事長 武谷 雄道(高21)	幹事長 田原 親志(高20)	
	副幹事長 野見山 清豪(高24)		
	副幹事長 藤 正敏(高18)		
	会計監査 里 弘(高22)		

同窓会事務局

事務局員 上村 浩朗(高35)

母校スナップ Kahohigashi Snap

事務局員 上村 浩朗(高校35回生)



2019年1月16日~19日の3泊4日で 第2学年普通科の修学旅行が行われました。

北海道の登別で、大自然の中でスキーを体験してきました。始めはうまく滑れない生徒がほとんどでしたが、転んでも立ち上がりまた転びを繰り返して、徐々に滑れる生徒も増えていきました。

大自然の中のスキーは本当に素晴らしいもので、生徒たちの上達はとても早く、笑顔が多く見られたスキー研修になりました。また、「あきらめないことの大切さ」を学ぶことが出来た、すばらしい機会になりました。夜は生徒会の企画で盛り上がり、この日のために準備してくれた皆さんありがとうございました。

最終日の昼食に「まるごと市場」でおいしい料理を食べ、福岡に帰ってきました。地元の暖かさに生徒たちは懐かしさを感じていたようです。修学旅行を通して生徒たちはたくましく成長し、この経験を今後の学校生活、人生に活かしていくことだと思います。



英語スピーチコンテストに参加しました。

2018年12月9日に飯塚国際交流推進協議会主催のスピーチコンテストが開催され、我が校から英語科1年の青柳響さん、山田紋楓さん、塩田真央さん、松岡李英さん、そして優秀賞を受賞した梅野七美さんが参加しました。

梅野さんは「LGBTQ」でスピーチを行い、どの生徒も堂々とステージに立ち、内容も非常に素晴らしいものでした。



第1学年新春百人一首カルタ会

2019年1月28日(月)、第1学年による新春百人一首カルタ会が実施されました。このカルタ会の歴史は長く、第1回は昭和37年に実施されています。

各クラス4~5人のチームを8チーム作り、クラス対抗で源平合戦の方法で行いました。12月から国語総合の授業中などに練習をして、大会直前には生徒達の方から「百人一首をしたいです!」と出てくるほど積極的に取り組んでくれました。

本番では、どのチームでも盛り上がり、中には決まり字で鮮やかに手札を取る生徒や自分が好きな和歌は絶対に譲らないといった気遣いで手札を取る生徒もいました。

優勝は見事1年4組が獲得し、代々受け継がれている優勝カップを手に入れました!生徒達はこの会を通して、百人一首に親しみ、日本古来の文化に興味を持ってくれました。



嘉穂東高校同窓会奨学金授与式

2019年3月25日(月)

同窓会給付型奨学金が創設され今年で5回目を迎えます。今年は2019年3月25日に母校校長室にて、校長推薦で選ばれた2名の生徒に藤江同窓会長より直接、奨学金が手渡されました。(父兄同席のもと)

この制度が、より高い目標を持ち努力を続けている生徒の一助になればと願っています。



- 規定
- 1.同窓会奨学金の区分、対象者及び給付の額は、次の通りとする。
- 区分:特別
- 対象者: 学校長推薦・特に成績優秀・品行方正で他生徒の範となる者
- 金額: 100,000円
- 適用: 2名以内
- 第2条前条に定めのない事由が生じたときは役員会で定め、理事会に報告するものとする。附則この規定は、平成27年1月13日から施行する。



第71回生 進路実績 (2019年3月卒業)

学生たちは国公立・私立大学、専門学校、公務員など希望の進路を歩んでいます。

国公立大学	4名
九州工業大学	1名
北九州市立大学	1名
東京外国語大学	1名
下関市立大学	1名
私立大学(主要校)	148名
西南学院大学	9名
福岡大学	22名
中村学園大学	4名
産業医科大学	1名
短期大学	25名
看護系専門学校	14名
麻生看護大学校	3名
医療系専門学校	26名
その他の専門学校	53名
公務員	21名
国家公務員(刑務官・海上保安官含む)	5名
地方公務員(福岡県職・県警・嘉麻市)	6名
民間就職	12名

※他、多数合格 ※合格者延べ人数

校歌

八波則吉作詞
山下謙次郎作曲

一琴平山に草崩れて

松の木蔭も風薫り

龍王に月湧えて

水遠白く穂波川

二自然の母のふところに

かき抱かる心地して

光遍き大御世に

学びの道をたどるかな

玉標の鏡身に秘めて

なほも優しくとやかに

女の徳を修めつゝ

御世の恵に報なむ

平成三十年立秋謹書

嘉穂高等女学校校歌 青子



百十年の伝統と絆、未来(あした)へ繋ごう!

かねてより念願であった「嘉女の校歌額」が完成し、2018年の同窓会総会懇親会でお披露目後、2019年3月に母校体育館に掲げられました。

来年2020年は創立110周年。明治・大正・昭和・平成そして新しい令和へと時代は流れていきます。

嘉女・嘉穂東高校卒業生としての誇りと同窓生の皆さんの熱い絆が永遠に続きますように…

同窓会支部だより
総会・懇親会・同期会

関西支部総会・懇親会の報告

開催日:2019年4月20日(土) 場所:大阪キャッスルホテル

今年に関西支部創立10周年の節目の総会でした。100名以上の参加で「同窓会が故郷を想う心の休憩所」との思いを持ち、昨年の総会の直後から、役員を中心に幹事の皆さんのご協力を得ながら準備を進めてきました。関西支部の設立以来、ご参加いただいていたメンバーの方も健康の不安等の事情から年々、出席が減少している中、各回生の幹事の方に参加の依頼の為、それぞれの手段で連絡を頂き、又、回生幹事がない年次の全員には事務局より案内し、目標の100名には届きませんでした。藤江本部同窓会長、甲斐校長等の来賓の方も加え総勢82名の参加となりました。飯塚、岡山、名古屋からも駆けつけて頂き嬉しい限りです。中でも最年少の森藤さん(50回生)の参加は格別でした。嶋田光一氏(25回生)による「わが学び舎の大地は古代遺跡の宝庫」の講演は永年の研究に裏付けられた興味深い内容でした。懇親会も、「会員の出し物」で会員の披露、「テーブル対抗クイズ」の故郷に関する難問にテーブル毎に相談し回答するなど大いに盛り上がりしました。又、前年度当番生による「母校の現状スライド」の紹介があり皆さん、大変懐かしかったです。遺囑歌に続き、今年度当番生の三好実行委員長の「フレイフレー東、フレイフレー関西」で会を締めくくりました。

又、数年前から企画していた「同窓会関西支部創立10周年記念誌」も無事に完成できほっと喜んでます。これからは「参加して楽しかった」と感じて頂けるように企画を考え運営していきたいと思ひます。皆さんのお力添えをお願いします。最後に、創立以来10年の間、支部長としてご尽力いただいた田中前支部長に感謝申し上げます。

支部長 長谷川浩二(高校16回生)



第26回福岡支部総会・懇親会の案内

開催日:2019年6月22日(土) 場所:天神スカイホール(西日本新聞会館16F)
https://kahohigashi-doso-fukuoka.com/

昨年は創立以来25回目の節目の総会でした。創立にあたって、手作り・手弁当で支部作りを奔走された先輩方の福岡支部への熱い思いと、現幹事の精力的な活動がよく調和していると感じます。

懇親会での「のど自慢大会」は初の試みであり、成功するかどうか、若干不安でしたが、開催してみると参加者の意気込みと、芸達者ばかりで、本当にびくびくいたしました。発案者である武谷幹事長以下の心意気が、「のど自慢大会」を成功に導きました。

現在福岡支部の特徴として、ここ数年、当番生として頑張った人達が、役員終了後、そのまま福岡支部幹事として残り、非常に活躍してくれています。

今年度は令和から令和に変わります。福岡支部には令和ゆかりの「大宰府・坂本天満宮」があります。支部幹事一同も、新時代に向かって益々連携して行きたいと考えています。6月22日は多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

支部長 田代勝(高校15回生)



嘉女・嘉穂東会 in くまもとの報告



4月6日(土)34名のご参加を得て第15回「嘉女・嘉穂東会inくまもと」を「アークホテル熊本城前」にて開催いたしました。地元熊本の他、鹿児島、福岡支部、飯塚の同窓生の皆様と、本部同窓会より藤江会長様始め3名のご参加を頂きました。今年赴任なさった甲斐直樹校長先生手作りの「学校近況報告」で、母校の現在を速く離れた熊本で知ることができました。嘉穂高校熊本支部からも2名のご参加を頂きました。今年も「熊本城主」の権利をくじ引きで1名の方に進呈いたしました。「令和元年五月一日」に手続きをいたします。初対面の方とどこかで繋がっていることが発見できたり、同窓会の醍醐味を噛み締めた一日でした。今年10月には熊本城も天守閣前まで入城できることになりました。来年も4月第1土曜日に熊本でお待ちしています。

お世話係 畠山 祐子(高校32回生)

同窓会本部総会・懇親会の報告

開催日:2018年10月27日(土) 場所:のがみプレジデントホテル http://kahohigashi-doso.net

2018年同窓会総会・懇親会が「のがみプレジデントホテル」にて開催されました。総会では提出された全議案が可決されました。オープニングは御神楽・吹奏楽部による演奏のあと、校旗入場、久家実行委員長による開会宣言、藤江同窓会長・来賓の方々によるごあいさつ、そしてかねてより作成を検討していましたが、母校体育館に掲げる「嘉女の校歌額」が完成しお披露目が行われました。

喜寿・古希の先輩方による鏡開きからいよいよ乾杯です。各テーブルでは久しぶりに再会した同級生との会話に花が咲き、会場は笑顔でいっぱい。還暦祝いには29回生の皆さんが67名参加され、お祝いに当番生による「よさこいソーラン節」が披露されました。大抽選会では発表される当選番号に一喜一憂、会場の盛り上がりもピークです。来年の当番生への引き継ぎ式を終え、現役応援団による演舞、そして校歌と吾が遺囑歌を会場全員で斉唱し、とても楽しい懇親会となりました。

尚、当日会場内で募金をお願いを回らせていただき、クラブ後援会に85,855円、西日本豪雨災害募金に51,700円の協力をいただきました。2018年当番の47回生の皆さん、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

本部理事会 本校への支援、予算・決算、事業計画・報告、同窓会規約や会費徴収から使徒など様々な議題を審議し、同窓会の活性化のためにお集まりいただいています。



東京支部総会・懇親会の案内

開催日:2019年5月25日(土) 場所:ホテルグランドアーク半蔵門

今年の総会は5月25日(土)ホテルグランドアーク半蔵門で開催します。令和元年にふさわしい皇居の近くで見晴らし抜群の場所です。そして今年の総会は22回生(昭和45年卒)が当番幹事をつとめ、特別ゲストには24年間母校で教鞭をとられた浅野野先生を予定しています。

東京支部は松岡洋元支部長(故人)、諫山禎一郎顧問が立ち上げられ41年目を迎えましたが、この4年間、総会参加者は120人を超えており、誠にありがたく喜ばしい限りです。

実はこの30年間、卒業して上京する人がほとんどいなくなり、支部の先細りと高齢化が喫緊の課題でした。佐藤前支部長(故人)を中心に支部活性化を重要テーマとして取り組んできました。一番の問題点は「総会には参加したが、知らない人ばかりで面白くない」という声にいかに対応するかです。結論として、学年を超えての交流を図り、お互いに知り合う機会を作ることに取り組みました。空白学年に手分けして手紙を出したこともありましたが、その努力が学年を超えた結束に結びついたように思います。

また、年一回発行の支部会報には思い出話や自己紹介を兼ねて人物紹介をしてきました。その結果、過去5年間の掲載者は40人を超えました。さらに、年4回の幹事会(各学年の幹事の集まり)には20人以上の方が参加され、活発な議論とともに交流の輪が広がっております。まだまだ工夫の余地があると思いますが、以前の東京支部とは違います。同窓の皆様のご参加を心からお待ちしています。

支部長 中野 滋徳(高校12回生)



同窓生だより

高校6回生

長谷部経宜先輩のご活躍

昭和29年卒業の長谷部経宜(つねのぶ)先輩は中央大学へ進学されましたが、病気に中退、独学で経理事務を学び、税理士事務所や一般企業に就職後は、経理課長・専務取締役などを歴任されました。退職後は、上三緒公民館長(3年)、上三緒自治会長(6年)、菩提寺の門徒会長(20年)など数多くの公職に就かれ、特に平成18年から飯塚東地区青少年健全育成会に入会され(現在は会長)、地域への奉仕活動として、東小学校児童の登下校時を見守るパトロール車による巡回、夏のカーレー大会・どんど焼祭でのふた汁・文化祭での石焼き芋など各種の焼き出し、小学生卒業祝いの紅白餅の贈呈、子ども食堂の開設、それらの活動資金としての賛助会の発足に陣頭指揮を執られ、まさに青少年の健全育成に貢献されています。

その他、飯塚市少年相談センター補導員、NPO法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会理事なども務められ、これらの活躍により5月には福岡県より「青少年団体等顕彰」を受けられます。近年、飯塚東地区出身の子どもたちの中には長谷部先輩を知らない子はいないのではないのでしょうか。

嘉穂東同窓会でも、同期会の会長を10年務められ、創立100周年事業の際には大変ご尽力いただきました。長谷部先輩、今後も地域や同窓会のために益々活躍されることを祈念いたします。

本年当番 48回生からのお知らせ

2019年嘉女・嘉穂東高校同窓会総会・懇親会の案内

●スローガン:「Hello Again ~昔からある場所~」
●開催日・会場:2019年10月26日(土) のがみプレジデントホテルにて

昨年の総会にて、47回生から引継ぎを受け、現任同期一同、定例会を重ねながら参加者も増えてきています。一生に一度しかないこの当番幹事、大人になって再会するから学生時代と違った楽しさを感じながら、皆で青春をもう一度謳歌したいと思っています。平成8年卒業の同期生の皆さん、是非実行委員会に遊びに来てください。

そして、同窓会会員の皆様、当日は私たちが精一杯おもてなしさせていただきますので、より多くのご参加をお待ちしております。 2019年度実行委員長 三好 宏輔(48回生)

